



スポ推よこすか

平成30年6月28日 発行

発行責任者 横須賀市スポーツ推進委員協議会会長 武 雅兄

平成29年度末総会及び平成30年度総会

4月13日（金）ヴェルクよこすか6階ホールにて18時半より平成29年度地域体育振興功労者及びスポーツ推進委員感謝状贈呈式が開催されました。



地域体育功労者4名、スポーツ推進委員6名（20年表彰1名、10年表彰5名）が受賞され、上地横須賀市長より感謝状を贈呈されました。横須賀市を代表し市長より挨拶がなされ、市長のスローガンである「誰も一人にさせないまち」をスポーツを通じて実践していきたいとのことでした。



19時からスポーツ推進委員協議会平成29年度末・平成30年度新年度総会が開催されました。初めに武会長より、昨年度の60周年記念事業や横須賀で開催された県大会が無事に終了した報告がありました。今年度は通常の行事の他に3市交流研修会の幹事であり、今年度もスポーツ推進委員の知恵と体を貸して欲しいとの言葉をいただきました。

次に横須賀市の高橋スポーツ振興課長より、政策推進部から文化スポーツ観光部へ組織変更した旨の説明がありました。



総会に入り議長に公郷学区の細野さんが選出され、各担当者より平成29年度事業報告、決算報告、監査報告がありました。続いて平成30年度事業計画（案）、予算（案）、規約改正について説明がなされ、賛成多数で承認されました。滞りなく総会が終了し、承認された事業計画、予算を基に今年度の活動をスタートしていきます。



記事 広報部 副部長 根岸 亨（北下浦）
写真 広報部 副部長 新堀 邦明（富士見）

新任研修会

5月19日(土)平成30年度新任研修会が開催されました。事務局高橋課長より、スポーツ推進委員の規則、施策の目標や目標達成に向けた施策の講習がありました。行政でこのような事業に取り組んでいることは、初めて知りました。



学校体育事業サポートなどは特に、印象に残りました。地域のおとなが子ども達に関わる事で子ども達の成長につながる事が出来たら素晴らしい事だと思いました。



その後、武会長より平成30年度事業計画と協議会活動について、プロジェクターを使用して研修会が行われました。スポーツ推進委員の仕事・地域の仕事・行政の支援・協議会の仕事、とわかりやすい内容で説明されていました。

まだ推進委員になったばかりですが、これから研修会、年間事業にどんどん参加して初めて知るスポーツなどにも参加し、自分も楽しみ諸先輩方々からご指導を頂き地域の方々と交流を深めていきたいと思えます。

普通救命講習会

続いて普通救命講習会が行われ、成人に対する心肺蘇生法・AEDの使用方法を、横須賀市消防局の講師2名を迎え、講演とグループに分れ実際に一人ずつ人形を使用して実技訓練をしました。



私のグループは以前に講習会や実技訓練を受講されていた方が多く、一度でも講習・実技訓練を行っていれば前回の講習を思い出し心肺蘇生法の手順をスムーズに行えることができるものだと感心しました。



特にAED実技研修では、触れたことがなく少々緊張しましたが、わかりやすくアナウンスされてその指示通りに行えると安心しました。声を出して助けを求め落ち着いて行動すること、そして心肺蘇生は重要な処置であることを学びました。その他気道異物除去法、回復体位の講習。今まで普通救命講習を受講したことがありませんでしたので、不安もありましたがとても勉強になりました。



最後に横須賀市消防局の講師の方が、「一人でも多くの市民の方の活躍を耳にすることができたら嬉しいです」と仰っていました。

一度きりの講習ではなく機会があれば再受講することにより知識が高められることを確認しました。

記事 田ノ上 直美(浦郷)

写真 広報部 副部長 新堀 邦明(富士見)

ラジオ体操指導者講習会

ラジオ体操指導者講習会が、5月26日(土)に不入斗サブアリーナで開催されました。講習会は2級ラジオ体操指導士の資格を持つスポ推林副会長を講師に、各動きのポイントやその運動での効果の説明していただきながら、実際に身体を動かして汗をかきました。



近年、子どもの運動能力の低下についてよく耳に致します。その要因としては社会的・物理的な環境変化の影響が大きいと考えられます。ほとんど運動をしない子どもの割合が高く、よく運動をする子どもとの体力差が大きく開いています。

そこで今求められているのが、保護者や周囲のおとな達が子どもを取り巻く環境を十分に理解し、積極的に身体を動かせる機会を作っていくという取り組みです。それには今日講習を受けたラジオ体操が一番身近にあるものだと思います。横須賀市保健所健康づくり課からも、ラジオ体操普及状況やサポーター登録についての話がありました。



全身の血行を良くする・肩関節の柔軟性を高め、肩こりや首筋の疲れを取る・消化器官の動きを促進させる等々ラジオ体操は色々効果が大きだと実感しました。

効能を理解しおとなが先に立ってそれを導いていくべきと痛感しました。

記事 小林 恵子 (汐入)

写真 広報部 部長 鈴木 幸子 (汐入)

副部長 新堀 邦明 (富士見)

ソフトバレー研修会

ラジオ体操指導者講習会の後、ソフトバレーボール講習会が行われました。



ソフトバレーボールの人数は4人制で、コートはバドミントンと同じ広さで行います。

ボールは、名前のとおり柔らかく、バレーボールより大きくて、当たっても痛みの少ないボールです。

研修は、男女混合、年齢は様々のチームを構成して、みなさんと練習試合を行いながら、一つ一つルールを覚えながら行われました。



審判も、各チーム交代で行われました。実際、私もコート外で判断していたときとは違い、いざ審判台に乗ると緊張してしまい、慌てて間違った判断をしてしまうこともありました。そんなとき、みなさんが「楽しくやりましょう!」と、声をかけていただきましたので、楽しく行うことができました。

まだソフトバレーボールを知らないよ。やったことないよ。やってみたいな。と思っている方、「年齢・性別・体力・経験」に関係なくみんなで楽しめるスポーツですので、是非、体験してみてください。よいストレス解消にもなりますよ。

記事 鳥居 豊 (沢山)

写真 広報部 部長 鈴木 幸子 (汐入)

平成29年度 関東スポーツ推進委員研究大会(東京大会)

平成30年度関東スポーツ推進委員研究大会が6月8日(金)9日(土)の2日に渡って東京都墨田区総合体育館メインアリーナにて開催されました。



「スポーツが未来を変える～一億総スポーツ社会の実現に向けたスポーツ推進委員の役割～」を大会テーマとし、1日目は表彰式(参加者は1993名、うち神奈川県は147名、横須賀市は8名で、横三地区からの受賞者は逗子の小南博明さん1名でした)日大豊山女子中学・高等学校の体操部による創作ダンス、手話ダンスで会場の雰囲気や和やかになった後、<シンポジウム>では「スポーツ参画人口の拡大に向けて」～スポーツ推進委員への期待～というテーマでコーディネーターは立教大学副総長の松尾哲矢氏が務め、パネリストにはスポーツドクターの辻秀一氏、㈱ルネサンス取締役高崎尚樹氏、東京都障害者スポーツ協会の高山浩久氏の3名がそれぞれの立場から提言や意見交換を行い2日目の分科会の研究協議を深めることに繋がりました。



2日目は第1分科会に参加をし、「スポーツを好きにする多角的・心理的アプローチ」をテーマに～スポーツ未実施者の掘り起しに向けて～と題してコーディネーターに辻秀一氏、村田祐造氏と澤田智洋氏の事例発表を受けディスカッションを行いました。

辻氏からはスポーツは文化であると捉え、スポーツをする人の心理から、自分自身やまわりの人の笑顔がよし、やろうと前向きにさせること。村田氏からは、「挑戦」「寛容」「配慮」「敬意」「感謝」「傾聴」をキーワードに最高のチームづくりを実践したこと。澤田氏からは、ゆるスポーツと表して自由な発想で皆が想ったことを新たなスポーツとして作り上げて行くことが報告されました。

最後にスポーツは、やる・見る・読む・話す・聞くこともスポーツなんだと位置づけ、テーマである、一億総スポーツ社会の実現にスポーツ推進委員もできるところから始めようと提起されました。

記事 副会長 滝瀬 絹子(神明)

副会長 鈴木 貞男(大楠)

写真 広報部 副部長 新堀 邦明(富士見)

編集後記

総会も終わり、各研修会・講習会も順調に行われています。これから大きな主幹事業の行われる時期になりますので、皆さんの参加と広報部への協力をお願い致します。

暑い夏を乗り切ろう～!!!

今年度は横須賀アリーナが使用出来ない場合があります。行事の催される場所確認のうえ参加をお願い致します。

広報部 部長 鈴木 幸子(汐入)

ホームページ <http://sukataishi.jp>